

地域外からの労働力確保の取り組み



平成31年3月19日

高知県農業協同組合

高西地区四万十営農経済センター

営農指導課 森本 英和

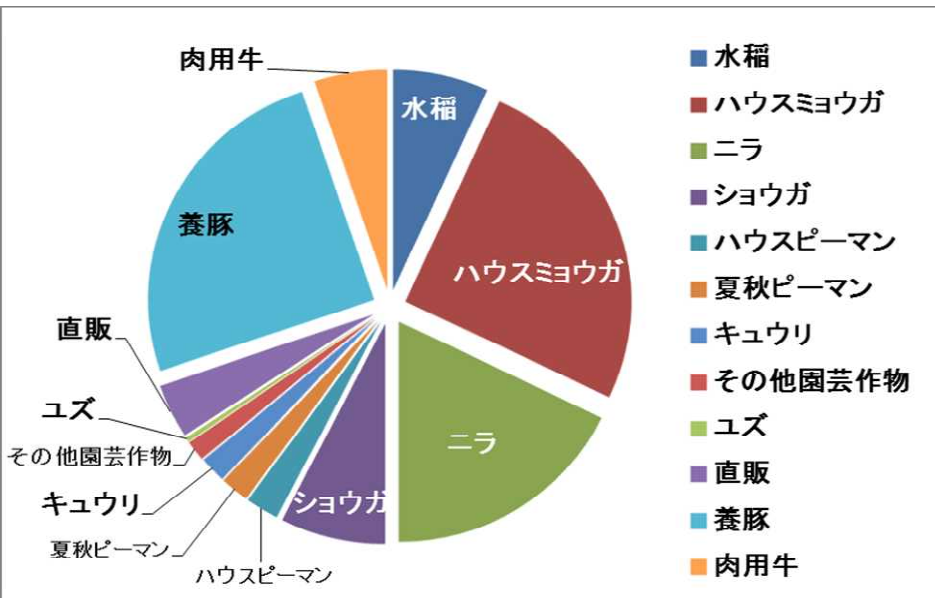
J A 高知県四万十営農経済センターの概容



平成 27 年度取扱高

	品目	生産者数	取扱高 (単位：千円)
稲作	水稻	527	346,360
園芸作物	ハウスミョウガ	59	1,285,232
	ニラ	72	903,697
	ショウガ	60	383,804
	ハウスピーマン	21	120,445
	夏秋ピーマン	46	104,736
	キュウリ	9	98,110
	その他園芸作物		75,711
果樹	ユズ	101	17,314
直 販		388	199,799
農 産 計			3,535,208
畜産	養豚	5	1,273,291
	肉用牛	10	262,738
畜 産 計			1,536,029
合 計			5,071,237

【概要】
 組合員数：正 3,413名 准 1,932名
 役員数：19名
 職員数：122名
 営農指導員：9名
 生活指導員：1名



J A 高知県四万十無料職業紹介所の活動状況

【実績】

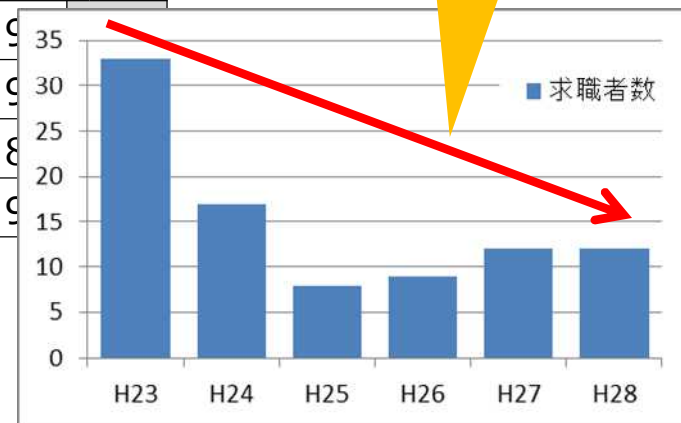
事業 年度	求職 者	紹介						
		ショウ ガ	ニラ	トマト	ユリ	ミョウ ガ	酪農	計
H17	36	19						19
H18	48	16	4	1	1	3	1	26
H19	20	5	3			1		9
H20	20	10	4			1		15
H21	49	11	10			1		22
H22	18	7	4			1		12
H23	33	8	9					17
H24	17	10	2					12
H25	8	8						8
H26	9	9						9
H27	12	12	1					13
H28	12	10	1					11

ミョウガ作り作 業		ショウガ掘取り 作業	
希望 農家 数	希望 人数	希望 農家 数	希望 人数
3		3	
3		3	
7		7	
6		6	
7	10	7	23

平成 1 7 年より取組開始

当初は、求職者も多く紹介実績は多かったが徐々に減少。
リピーターは農家希望に添い、直接交渉。

大幅に減少



J A 高知県四万十無料職業紹介所の活動状況

【労働力確保の取り組み実績】

- ・H24年 無料職業紹介所登録制度スタート（12名登録）
- ・H25年 無料職業紹介所登録制度スタート（115名登録）
農作業情報発送（毎月）
- ・H26年 品目間横断雇用スタート
4名利用（営農支援Cから一般農家へ）
- ・H28年 長期間雇用体制の取り組み
（ショウガ掘り取り作業での長期間雇用）



様々な取り組みを行うが効果が出ない状況

そこで・・・。

地域外アルバイトの利用

先進地事例調査（H29.3.13）



みかん援農隊の取り組みは、大変参考になり、管内での取り組み気運の高まりにつながった。

【生産農家の組織化】

ショウガ生産者の内、雇用労働力不足を感じている農家中心に組織化を行い、部会役員、若手生産者には積極的参加を促す



4月～9月の期間中、毎月会議を行い
長期アルバイトを集める方法を検討

① 取り組み方向の決定及び、募集方法の決定

② 新聞広告（チラシ）の実施、ネット掲載の実施



事務局機能について（アルバイト受入まで）

1.受け入れ農家、関係機関との打ち合わせ

- 宿舎、食事、移動手段等の検討・決定
- 雇用内容の検討・決定
（賃金、期間、作業内容、傷害保険への加入、労務管理など）
- 募集方法、内容の検討・決定



2.アルバイトの募集

- インターネットサイトへの掲載（内容確認）
- 新聞折り込み（チラシの作成）



3.求人募集

- 農家からの求人数の把握（男性or女性）
- 受け入れ期間の聞き取りと調整（作業開始時期）

事務局機能について（アルバイト受入まで）

4.アルバイトの面接（電話）・人選

○電話面接

経歴（農業経験の有無など）、年齢、出身地
各種資格および免許の有無、アルバイト期間
宿舎および食事の利用 など



5.事前説明会の開催

- 最終面接、事前説明、安全講習、作業着確認 など
- 受け入れ農家との顔合わせ
- 宿舎利用説明



事務局機能について（アルバイト受入後）

1. 宿舎の管理

- 施設使用状況（施錠や電気など）、日用品の有無ほか
- 生活備品整備（炊飯器、電子レンジなど）



2. アルバイトの管理

- 日程調整、食事の有無、現場確認
- 相談役（給料支給、人間関係など）
- 交流会
- 産地紹介説明会



3. 受け入れ農家への対応

- 日程調整、作業状況の確認
- 必要経費精算
宿舎利用料、食事代、その他諸経費 ほか
- 反省会



H29年度の取り組み事例

① 宿泊所確保



- * 海水浴場のキャンプ場施設を利用
- * 田舎であり、コンビニや飲食店は周囲になくやや孤立化・・・

② 雇用条件見直し（賃金、待遇面など）

- ・掘り取り作業 9,000 円、茎切り作業 7,000 円
* 宿泊費は農家負担
交通費は実費支給、傷害保険加入
- ・収穫作業の効率化→長期間雇用

③ 送迎車用意

宿泊所→圃場まで（約 1 時間）



○ 実質賃金

収穫作業員を雇用する場合の費用：

9,000 円（作業賃） + 2,000 円（宿泊費） + 500 円（交通費）

④ 募集方法

新聞折り込み広告、インターネットサイトへの掲載



H29年度の取り組み事例

【雇用実績】

- 応募形態：ネット応募7名、新聞折り込み応募13名
- 県内割合：県外6名、高知市4名、南国市1名、須崎市2名
四万十市2名、宿毛市1名、黒潮町ほか4名
- 宿泊所利用率：45%
- 自家用車利用率：50%
- 平均雇用日数、給与：20日、177千円
*期間限定（1日など）雇用は除く
- 紹介農家数：10件 ※2名/1件

【課題】

1. 通勤時間の短縮（1時間）→町内中心部の宿泊所確保
2. 休日の設定 →1週間に1日は必要
3. 農家での待遇の格差是正 →ある程度の均一化必要
4. 労働力調整（事務局役割）→雇用期間などマッチング調整の充実

H30年度の取り組み事例

① 宿泊所確保



- ・町内中心地にある、四万十町短期滞在型施設を利用
- ・コンビニやスーパーなども近くにあり、利便性UP

② 食事の準備

JAみどり市で、食事を準備（3食1,000円）

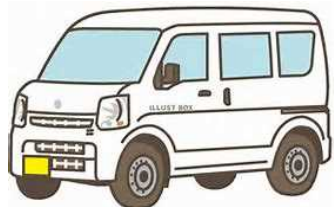
朝食→軽食

昼食→お弁当

夕食→お惣菜



③ 圃場までの送迎と車の貸し出し



宿泊所→圃場まで（約20分程度）

※自家用車を所有する方を優先的に採用

※乗り合わせにより、複数のアルバイトの移動が可能

○実質賃金

収穫作業員を雇用する場合の費用：

9,000円（作業賃） + 2,160円（宿泊費） + 1,080円（食事代）

H30年度の取り組み事例

【雇用実績】

- 応募形態：インターネット21名、新聞チラシ10名
JA西宇和やアルバイトからの紹介7名
- 県内割合：県外16名、高知市1名、須崎市2名、四万十市5名
黒潮町ほか5名
- 宿泊所利用率：65%（ホームステイ含む）
- 平均雇用日数、給与：23日、152千円
※最長37日、252千円
最短10日、56千円
- 紹介農家数：10件へ29名紹介

今後の労働力確保に向けて

【課題】

1. 宿舎の整備・充実

→部屋の仕切り等の設置、ホームステイの検討など

2. 募集内容の見直し

→仕事内容や給料日の明確化

3. リピーターの確保

→リピーターや紹介特典などの設定

4. 労働力調整（事務局役割）

→雇用期間などマッチング調整の充実

